

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	9人	1人	12人

前回の改善計画
サービス導入時の情報量を増やすとともに、情報の追加も随時行っていく。フェイスシート更新など担当者も決めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
導入時の情報は多少増えたかもしれないが、情報の追加更新がほとんどなかった。 初期支援の時期を過ぎると、改めて情報に目を通す機会も少なくなるので意識が向かない。担当者配置は継続して必要な課題となる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	5	4	2	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	8	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	2	0	12

できている点
利用者の不安を和らげるための傾聴や声掛け、また本人の意向を尊重した関りはある程度、共有した価値観で行えている。訪問のみだった方が、通いにもスムーズに移行できるケースが多く、安心してサービスを受けて頂けている証拠になっている。 情報は連絡ノート等を活用して共有することは出来ている。

できていない点
情報の確認が書面で行うだけになっており、考え方の共有に繋がらない事が多い。フェイスシート内容が更新されずに初期支援段階のままとなっている。担当者が決まっておらず、更新意識が高まって行かない面がある。 またフェイスシートなどの初期情報の発出が遅い。

次回までの具体的な改善計画
新規利用の際には、契約や相談のタイミングにもよるが、5日程度は前に情報を提示した上で、ミーティングを実施して、内容のすり合わせや支援内容の共有を図る。この流れを基本として、安心して初期支援あたる環境を創っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	4人	1人	11人

前回の改善計画	本人へのニーズの聞き取りを意識したコミュニケーションをとっていく。「したいこと」をかなえると同時に、「出来る事」を奪わないという意識の浸透を図る
前回の改善計画に対する取組み結果	出来る事を奪わないという意識での関りはある程度共有されている。 ニーズの聞き取りや、その実践を日々のケアに落とし込むことまでは踏み込めていない面が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	5	2	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	2	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	2	2	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	1	7	2	11

できている点	本人の目標は日々の関りの中で大まかな聞き取りをしている。そのうえで、意思の尊重や出来る事を奪わないという意識の下での関わりを行っている。 目標を念頭に、ご本人のやる気を引き出す関りも行っている
--------	--

できていない点	日々のケアに追われてニーズへの意識が行かない。また聞き取りも不十分なため、目標の把握自体も難しい事が多い。 そのため、関り方自体がその場のケアのみで、ゴールを導き出すほどになっていない。ミーティング等が行えず、個々の判断での関りになっていのも原因。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	ミーティング時間を捻出し、支援前の情報共有に加え、初期段階を見た上での、ニーズ把握やその実現に向けたケア内容の共有を図っていく。日々の関りでもニーズ把握を意識する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

3. 日常生活の支援

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	0人	12人

前回の改善計画
 支援をお待たせしてしまう際の声掛けを単に「待って下さい」ではなく、「〇〇の後にやります」など分かりやすい目安を伝えることで、待たされている感を軽減する。
 以前の暮らし方の聞き取り充実を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ケアにあたる時の声掛けは、相手の方の気持ちを考えて行えるようになってきている。
 以前の暮らし方に関しては、個別に聞くことはあっても、全体で聞いたり共有するところに至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	7	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	7	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	4	4	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	10	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	4	0	12

できている点
 入浴排泄などの支援では、丁寧な対応が全体として出来ている。声掛けも概ね適切に行われている。体調の変化等への即時的な対応という面では、訪問への切り替えなどで、スムーズに行っている。時間的にゆとりがある時には、そばで話を聞くことも出来ている。

できていない点
 職員都合でお待たせしてしまう事が多い。ミーティング等での意思共有が出来ていないため、職員個人の感覚で対応してしまっていることも多い。日常のコミュニケーション取れているものの、目的を持った内容にはなっていない。

次回までの具体的な改善計画
 サービス内容の見直しについて、体調の変化によるその場の対応だけでなく、ニーズを把握したうえで、必要なサービスに切り替えること。そのためのミーティング機会の確保。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	6人	3人	10人

前回の改善計画
地域交流委員会としての役割として行事計画にとどまらず、お客様個人の地域資源の把握や関係性維持にも活動内容を広げていく。 地域包括支援センターとの関係性強化を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々の業務に追われていることと、感染状況の影響が重なり、地域交流委員会の活動はほとんど行えなかった。地域包括との関係性は限られた職員の実践となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	6	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	5	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	0	10	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	5	6	11

できている点
それまでの生活スタイルを意識した支援を行えている。 家族からの情報は当然として、送迎時などに近隣住民の方から聞き取る事もあった。

できていない点
業務上の視野が狭くなってしまい、直接的なケアのみになったり、生活スタイルを聞き出すことが出来たケースでも、聞くだけで取組に繋がっていない。 民生委員などの地域の資源もほぼ知らないため、活用には全く繋がっていない。

次回までの具体的な改善計画
必要なお客様限定にはなるが、近隣住民や民生委員といった地域での暮らしに欠かせない方のデータを共有し、チームとしての関りに繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	8人	4人	12人

前回の改善計画
サービス内容や回数について、見直しが必要な方が多くなっている中で、カンファレンスの時間捻出が課題。映画鑑賞は難しかったので、それ以外でのフロア配置を行った上で集中できる体制を構築する。

前回の改善計画に対する取組み結果
カンファレンス時間確保に関し、映画鑑賞に代わる対応方法が見つからず、ほとんど開催できなかった。サービス回数の見直しについて、増やすことはあっても減らすことはなく、過剰提供と感じられるケースもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	0	5	5	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	7	4	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	5	2	3	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	1	0	12

できている点
変化が見られたときなど、その場での話し合いなどを基に柔軟に対応することは出来ている。関りの中で感じた事を申し送りノート記載で共有している。

できていない点
地域資源を活用した支援が行えず、事業所内でできる範囲の提供にとどまっている。また、ニーズに即した対応に関しては、本人ではなく家族のニーズになっている。そのため、回数が過剰となっている印象があるので、要介護度別の目安回数を設定するなど検討してみた方が良い。

次回までの具体的な改善計画
地域資源の活用を行っていく。まずは地域包括支援センターに相談を持ち掛けることで、自事業所だけでは対応が困難なケースに対しても、適切な環境づくりを実現する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

6. 連携・協働

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0人	5人	4人	9人

前回の改善計画	感染状況にも左右されるが、地域包括支援センターを中心として外部関係機関との協力体制を強化する。運営推進会議など、一般職員の参加機会を確保していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染や人員体制の問題もあり、中々一般職員の会議参加までは行えていない。一部職員により外部との交流はあっても、その場限りとなり連携した活動には繋がっていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	5	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	4	6	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	5	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	4	6	11

できている点	町内会の清掃に利用者も一緒に参加している。掲示板で地域の方が目を止めることも多く、接点になっている。感染状況も落ち着き始めていることもあり、音楽療法の再開や近隣保育園との交流も再開できた。
--------	--

できていない点	レクリエーション的なことは行えているが、会議や連携した支援など直接的に生活を支えるための取り組みには繋がってっていない。仕組みの理解不足やそもそもそこまでの余裕がないことも原因。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	町内の清掃だけでなく避難訓練や祭りなどにも参加していく。同時に、なごみでの行事などに近隣の方も参加する取り組みをしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

7. 運営

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

前回の改善計画	家族への介護参加働きかけを強化する。本人の要望を聞くことをケアマネに全て任せるのではなく、個々の職員が聞き取ったことを共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人や家族の要望をサービス内容に反映させることはある程度行えた。 家族の関りが不足気味と感じられる方へのアプローチが弱かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	4	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	0	5	4	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	4	4	8

できている点	会議開催が出来ていない中で、文書により意見を上げることは出来ている。 利用者や家族からの要望へは対応している。
--------	---

できていない点	会議の機会がなく、文章だけになり中々意見を上げたり、意見交換の場が取れていない。 介護職員では地域との接点が少ないため、自発的に地域との交流を考えることが出来ない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	会議、ミーティングを開催できる工夫をし、活発な意見交換の場を作っていく。
---------------	--------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	4人	6人	10人

前回の改善計画	資格取得やスキルアップのための研修派遣を計画的に進めと共に、研修情報の掲示により、自主的な参加を促していく。社内研修の時間確保については、ミーティングと同様に、集中できる体制を確保する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修については、派遣も自主的な希望も上手く進まず、行えていない。社内研修に関しては、一部委員会主導での開催が行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	2	3	6	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	2	7	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	5	6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	3	4	3	10

できている点	研修参加は、一部特定の職種によるものに限られている。社内研修については、委員会主導で感染症や身体拘束防止への取り組みをおこなった。
--------	---

できていない点	社内研修も中々時間確保が進まない中、少人数での開催となっている。直接的な介護業務だけで、他の事に余裕がなくなっていることも大きな原因。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	社内研修の充実。月刊デイを用い、準備負担を軽減したうえで、気軽に行えるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月9日

9. 人権・プライバシー

メンバー 園田、中嶋、戸田、松原、山口、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	3人	11人

前回の改善計画	実際の現場で不適切ケアやそれに近い対応が起きてしまっていないか、定期的な検証をカンファレンスなどで実施する。その中には「出来る事を奪っていないか」の視点も取り入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果	併設施設での不適切ケアをきっかけとしてアンケート形式で現場の問題点を検証できた。出来る事を奪わない意識は共有されている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	6	0	0	11
②	虐待は行われていない	6	5	0	0	11
③	プライバシーが守られている	4	7	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	4	1	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	1	0	11

できている点	言葉遣いを含めプライバシーや人権への配慮意識は共有されており、お客様本位でのケアを提供している。出来る事を奪わない意識はある程度浸透されている。成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用は、必要に応じておこなっている。
--------	--

できていない点	プライバシーへの意識はある程度確保されていると感じる中で、時々職員同士の会話などで配慮不足を感じることがある。また、ご本人の在宅生活の環境を考えた時に、不適切であり広くはネグレクトになっていると感じるケースもある。事業所内だけで対応しようとしていることで、手が回らない面がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	事業所内での虐待だけでなく、家族による介護放棄といった生活環境が不適切な状態への関与を、地域包括支援センターとも協力しながら強めていく。
---------------	--